

■厚岸町に愛着をどの程度感じていますか

愛着度については、「どちらかといえば感じていない」が38・8%と最も高く、「感じている」の35・8%と合わせて74・6%と高い割合を占めています。また、「どちらともいえない」が12・4%、最も低い割合となったのは「感じていない」の5・5%で、「どちらかといえば感じていない」も僅差の6・3%でこれに続いています。

■厚岸町は住みやすいまちだと思いますか

住みやすいまちだと思いますかについては、「どちらかといえば住みやすい」が45・3%と最も高く、次いで「住みやすい」が19・2%、「どちらかといえば住みにくい」が15・0%、「どちらともいえない」が13・5%、「住みにくい」が6・4%となっています。

■これからも厚岸町に住み続けたいと思いますか

住み続けたいかについては、「できれば住み続けたい」が53・8%と最も高く、次いで「ずっと住み続けたい」が22・8%、「できれば転出したい」が20・1%、「すぐにでも転出したい」が2・1%と最も低い割合となっています。

これからのまちづくりの方向性について

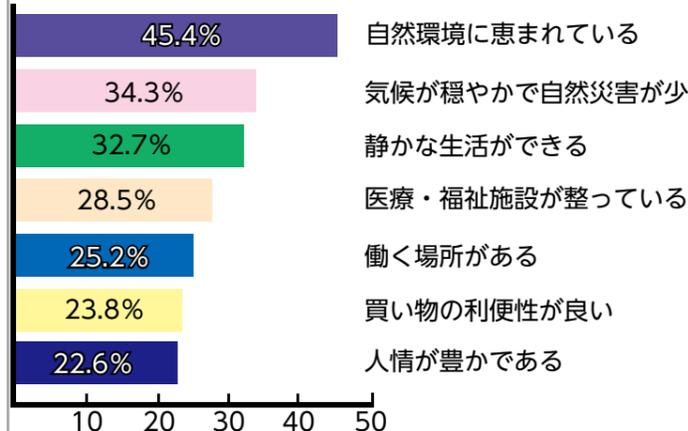
近年、少子高齢化が進み、全国的に人口減少期を迎えており、厚岸町においても、2060年の将来展望人口を6083人と見込んでいます。

皆さんは『町民満足度調査』の結果をどう感じましたか。「自分も同じように考えていた」、「私はこっの方が重要だと思ふ」など、さまざまな意見があると思います。

『町民満足度調査』では、抽出した一部の町民だけを対象としましたが、これまで、小学5・6年生と中学生を対象にした『小・中学生意識調査』、すべての町民の皆さんを対象に意見・アイデアなどの提案を求めた『まちづくり提案カード』、地域で活動する組織や産業・経済を支える企業・団体から意見の提案を求めた『一団体一提言』、新たな取り組みとして実施した『まちづくりワークショップ』により、町民の皆さんから、多種多様な意見をいただいています。これらを踏まえ、『新たな総合計画』が、厚岸町の将来を見据え、厚岸町をもっと元気なまちへ、そして町民の皆さん誰もが心から誇りを持てるまちへと向かう『道しるべ』となるよう、しっかりと取り組んでいきます。

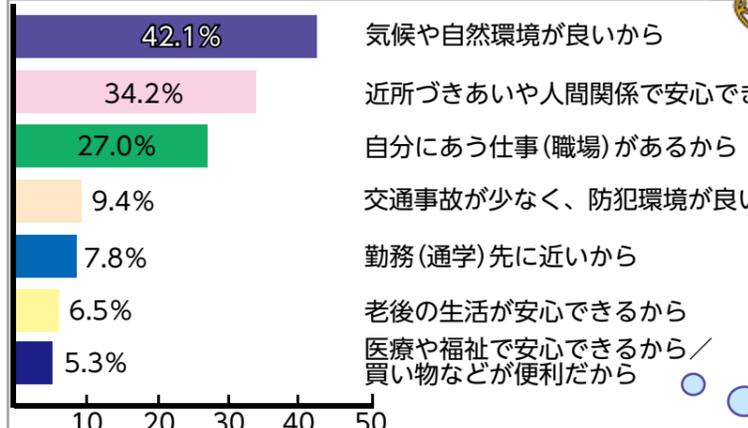
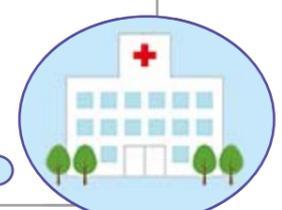
■住みやすさとは何ですか

住みやすさとは何かについては、「自然環境に恵まれている」が45・4%と最も高く、次いで「気候が穏やかで自然災害が少ない」が34・3%、「静かな生活ができる」が32・7%となっています。自然環境が住みやすさの要因となっていることがわかります。



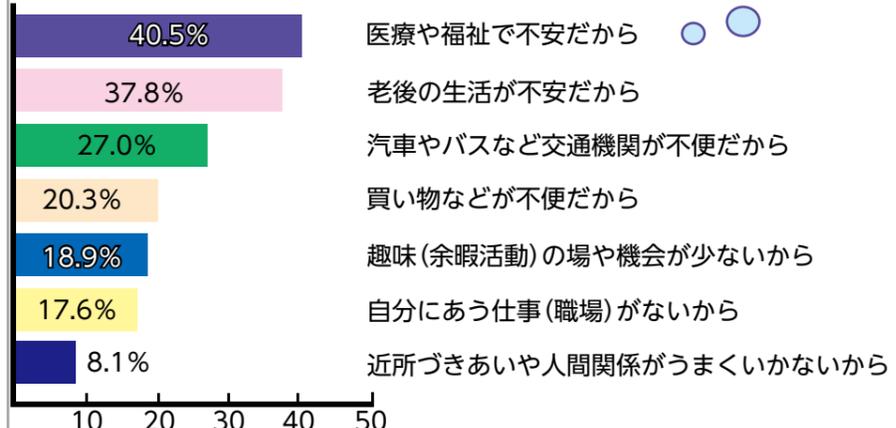
■住み続けたい理由は何ですか

住み続けたい理由として最も高いのは「気候や自然環境が良いから」が42・1%、次いで「近所づきあいや人間関係で安心できるから」が34・2%、「自分に合う仕事(職場)があるから」が27・0%、「自分が合う仕事(職場)があるから」が27・0%となっています。



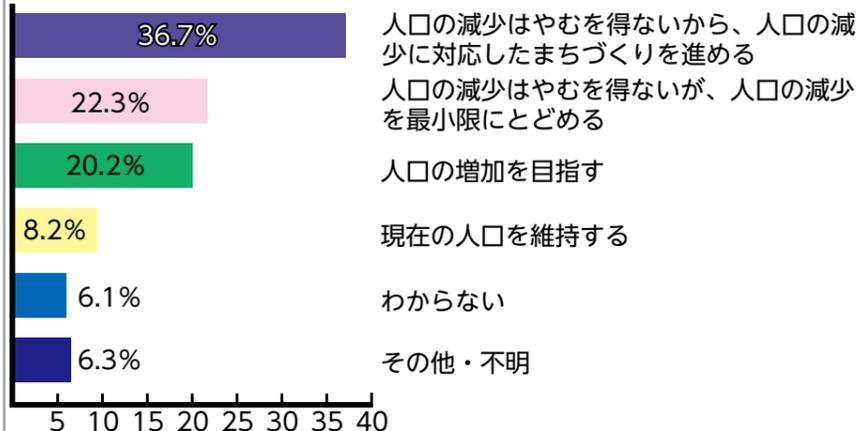
■転出した理由は何ですか

転出した理由として最も高いのは「医療や福祉で不安だから」が40・5%、次いで「老後の生活が不安だから」が37・8%、「自動車やバスなど交通機関が不便だから」が20・3%、「趣味(余暇活動)の場や機会が少ないから」が18・9%、「自分に合う仕事(職場)がないから」が17・6%、「近所づきあいや人間関係がうまくいかないから」が8・1%となっており、医療福祉や交通機関の充実が求められていることがうかがえます。



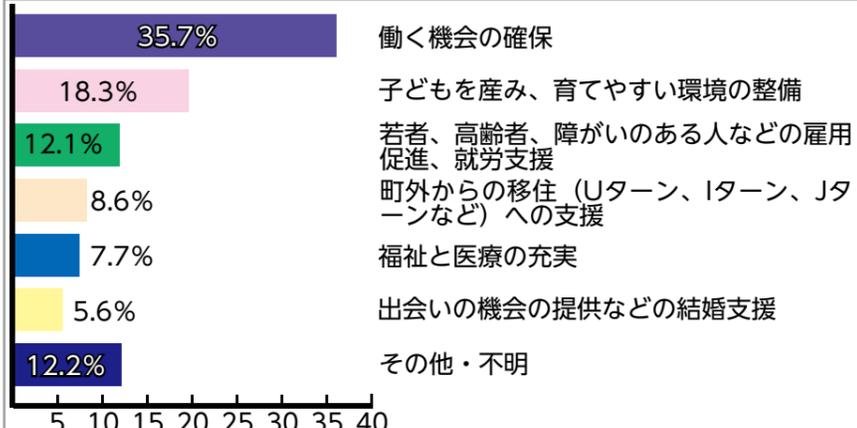
■厚岸町はこうした状況にどのよりに対応すべきだと思いますか

「人口の減少はやむを得ないから、人口の減少に対応したまちづくりを進める」が36・7%と最も高く、次いで「人口の減少はやむを得ないが、人口の減少を最小限にとどめる」が22・3%となっています。この一方で「人口の増加を目指す」という回答は20・2%となっています。



■人口減少の抑制への取り組みとして、特に重要なことは何ですか

「働く機会の確保」が特に高く35・7%、次いで「子どもを産み、育てやすい環境の整備」が18・3%となっています。



■厚岸町の将来あるべき姿を簡単なことば(キーワード)で表すとしたら、どのようなものが考えられますか

20%を超えたキーワードが4点あり、「安全・安心」が最も高く28・3%、「(自然の)豊かさ」が24・1%、「活力」が22・8%、「(経済的な)豊かさ」が22・0%となっています。

